

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」

○日時：12月5日（火）11:00～11:20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度
《11月のおはなし会で使った本》

『まるまるころころ』 得田之久/ぶん 童心社 2007.10

『かわるよかわるよ』 小林桂子/作・絵 教育画劇 2011.1

『いっぽんばしこちょこちょ』 とよたかずひこ/作 世界文化ワンダークリエイト 2021.3

『かんたん!めくるだけ!カモさんのかわいいスケッチブックシアター』 カモ/著 新星出版社 2023.2

★「第2回子どもと本をつなぐスキルアップ講座」

○日時：令和5年12月9日（土）13:30～15:30（受付13:00～）○会場：山口県立山口図書館 3階 第2研修室

○講師：講師 元山口市立小郡図書館館長 長谷川 雅美 氏

○内容：【講義】「紙芝居基礎講座 - 選び方、演じ方のポイント -」

○対象：県内の子ども読書ボランティア、公共図書館職員、司書教諭、学校司書、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

○定員：会場36名（要申込み・先着順）○参加費：無料

★「第3回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和5年12月13日（水）～12月17日（日）9:00～17:00

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ 3F）

○対象：学校図書館関係者、市町立図書館職員、ボランティア関係者等子どもの本に興味・関心のある方

○定員：一人2時間まで、各時間帯20名程度（要申込み）

○申込方法：電子申請又はFAX、来館（閲覧申込書により一人につき1枚）

○12月7日（木）に展示本のリストをHPにて公開

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 FAX:083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】価格は消費税抜き

＜絵本－乳幼児から＞

『ぜんぶで10』 せべまさゆき/作・絵 偕成社 2023.9 ¥900

いろんななかのうさぎが10ね。このなかで、ねてるのはだれ？にわとりについていくひよこが10ね。このなかで、くろいのはどこ？いろんな動物や昆虫が見開きごとに10ずつ登場し、数を数えたり問いかけに答えたりして遊べる絵探し絵本。同じ種類同士でも模様や色、飾りなどで個性豊かに描き分けられており、本文以外にもオリジナルの問題を出し合って楽しむことができる。

＜絵本－3, 4歳から＞

『あーっとかたづけ』 田中達也/作 福音館書店 2023.9 ¥1500

さあ、きょうもあとかたづけをはじめよう。ちいさなさぎょういんたちのてにかかれば、ちらかったおやつも、ぬぎっぱなしのようふくも、あーっというまにぼくじょうやキャンプじょうにはやがわり！著者は、日用品をミニチュアの視点で別のものに見立てたアートを得意とするミニチュア写真家。作業の前と後で見比べるのが楽しい、『くみたて』に続く「みたて」写真絵本の第2弾。

＜絵本－5, 6歳から＞

『ピースケのいえで』 たかどのほうこ/作 童心社 2023.9 ¥1400

うさぎのピースケは、のぶちゃんのぬいぐるみ。あるときうちでひどいめにあったピースケは、のぶちゃんとあそんでいたみどちゃんのてさげにとびこんで、いえでをする。みどちゃんのぬいぐるみたちに、いえでのわけをはなしていたら、こんどはのぶちゃんがみどちゃんのいえにやってきて…。友だちと遊ぶなかでときに感じるもやもやした気持ちを、温かなユーモアで包み込む絵本。

『おじいちゃんのくるみのき』 アミ・ジョーン・パケット/ぶん フェリシタ・サラ/え ひさやまたい/やく 評論社 2023.9 ¥1600

あるあさ、おじいちゃんはエミリアに、にわのくるみの木の実をわたした。その木はずっとむかし、おじいちゃんがかぞくで国を出なければいけなくなったときに、ひとつだけもってきた実から芽が出たものだという。エミリアもくるみをそだてはじめるが、それが木になるまえにおじいちゃんとのわかれがちかづいて…。くるみの木が「我が家」の象徴として家族をつなぐ、希望の絵本。

＜絵本－小学校低学年から＞

『コケのきょうだい』 根詰優/文 種籽設計/絵 沢井メグ/訳 トゥーヴァージンズ 2023.10 ¥1800

昔、海の生き物であったコケの兄妹・アーダオとドゥワイは、海の上の世界にあこがれて森へやってきた。住む場所を探すなかで石や木、イノシシなど森の仲間たちと助け合って生きることを学ぶ。台湾の原住民族サイシャット族の神話をテーマにした絵本。サイシャット族がコケをはじめとした山のすべてを敬う理由や、多様な生物との理想的な共生のあり方が、親しみやすく語られる。

＜絵本－中学生から＞

『絵本龍潭譚（りゅうたんたん）』 泉鏡花/さく 中川学/訳 国書刊行会 2023.9 ¥2500

妖怪や美女が登場し、神秘と蠱惑の桃源魔界を描いた泉鏡花の隠れた名作『龍潭譚』。絵本作家中川学は、子ども向けの絵本を数

多く手がけているイラストレーター。幼少期より怪奇物語を好んで読み、絵画の道を志した彼が、仲間とともに自費出版した豪華本『繪草紙 龍潭』(2011年)の普及版を泉鏡花の生誕150周年の年に刊行。表記は原文のままだが、漢字には読み仮名あり。

<読み物—小学校低学年から>

『こいぬのともだち』 堀直子/作 いちかひなつこ/絵 あかね書房 2023.10 ¥1100

飼い主に山に捨てられた子犬のましろは、大雨で飼われていた池から流されたためだかのキララと出会う。寂しがるましろを励ますキララは、食べ物をつかまえ方を教える。ある時やってきた男の子あおくんは、かつてキララの飼い主だったがキララには気づかずましろを飼おうと…。ましろとキララの温かくて切ない友情物語。動物を飼うことへの責任についても考えるきっかけとなる1冊。

<読み物—小学校中学年から>

『すごい!クモの探偵団』 谷本雄治/作 羽尻利門/絵 あかね書房 2023.9 ¥1300

4月から4年生になる加奈は、都会から田舎町に引っ越してきた。加奈が発信しているブログのことを知った虫好きの勇斗と大地に「虫の研究コンクール」に応募しようと誘われる。テーマをクモに決めた3人で「クモの探偵団」を結成し調査を進めるうちに加奈は勇斗達と素直に過ごすことの心地よさを感じる。自然の豊かさに触れ、他の生物との共生や多様性に気付く少女の成長物語。

<読み物—小学校高学年から>

『はじめの一冊の本!』 濱野京子/作 森川泉/絵 あかね書房 2023.9 ¥1300

格闘は外で遊ぶよりも図鑑を眺める方が楽しい小学6年生。ある時、図書室で見つけた卒業生が手作りした本をきっかけに、本や印刷に興味を持ち、気になったことを調べ始める。本を読んだり、博物館に行ったりと調べていく過程の中で、自分の興味や親や友人との関わり方に変化が生まれ…。調べることを通して成長する少年の物語。本の歴史や部品の名称についても学べる1冊。

<読み物—中学生から>

『かわらばん屋の娘』 森川成美/作 くもん出版 2023.7 ¥1500

時は幕末、13歳の吟は、亡くなった母の代わりにかわらばん屋の父を手伝ったり、5歳の弟・金太の世話をしたりする毎日。ある日、かわらばんを売っている最中に侍に追いかけられ、父と別行動で長屋まで帰ったのだが、父は子ども二人を置いて長屋から消えてしまう。隠していた財布と2本の脇差しを持って。なぜ、父は消えたのか。生きるために世間に抗う少女の物語。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『かっこいいをさがせ!』 長野康平/監修 和田利次/監修 文研出版 2023.9 ¥3000

楽しく体を動かすことをテーマにしたシリーズ全5巻。1は基本となる「姿勢」について取り上げる。よい「姿勢」は見た目だけでなく、心と体の元気にもつながる。かっこいい姿勢が身につくためのポイントや、良い姿勢でいることの効果、ストレッチについて、分かりやすいイラストや豊富な写真で解説する。自分の姿勢がどうなっているかをチェックする方法も紹介。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『まるわかり!日本の防衛』 防衛省大臣官房広報課防衛白書事務局/[編] 日経印刷 2023.8 ¥400

防衛省が毎年作成している防衛白書の内容をもとに、国の防衛や安全保障環境、防衛省・自衛隊等について、子どもたちに分かりやすく説明。日本の周りの国々との関係や憲法との関連、日本の防衛の基本政策について、表やグラフ、写真などを用いて解説する。巻末には、自衛隊の基地配置図、装備品や服装等の資料、防衛省・自衛隊の公式コンテンツの二次元コードの掲載あり。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『子ども資源マップ』 柴田明夫/監修 パウンド/著 カンゼン 2023.10 ¥1500

エネルギー資源、鉱物資源、水資源、食料資源、海洋資源、森林資源などの生活を支える資源について紹介する。自給率、消費量、輸出入の関係、他国との比較などについて図やグラフ、表、イラスト、写真などの豊富な資料で分かりやすく解説。資源から日本と世界のつながり、資源の持続可能性について考えるきっかけとなる1冊。巻末に用語の索引あり。

<ノンフィクション—中学生から>

『美術の進路相談 絵の仕事をするために、描き続ける方法』 イトウハジメ/著 ポプラ社 2023.9 ¥1600

前半は、画家・絵本作家などの表現者から、学芸員・保育士などの伝える立場の職種まで紹介する美術関係の進路相談。後半は、絵を描くための様々な技術を披露し、中学生以上が生涯にわたって絵を楽しむためのヒントを数多く掲載。本文中の挿絵などが、前半はモノクロ、後半はカラーと、対比的な構成が特徴的。美術への興味の有無に関わらず、手に取って楽しめる1冊。

『食べるのがこわい 私いったいどうしちゃったの?!』 イェニー・ヨルダル/作 鈴木真理/監修 佐脇千晴/訳 くもん出版 2023.9 ¥2000

小学校最終学年のヤンネは、食べることが大好きな太めの少女。嫌なことは大食いであらわしてきた。先生やいじめっ子たちからの心ない言葉に傷ついた上に、親友に裏切られ、落ち込むヤンネにママが提案したのはダイエット。痩せたい、という思いが強くなりすぎたヤンネは、次第に摂食障害に陥ってしまい…。摂食障害の心理を描いた、ノルウェーで話題のグラフィックノベル。

<研究書>

『『ピカドン』とその時代』 原爆の図丸木美術館/編 琥珀書房 2023.8 ¥1800

「原爆の図」で知られる丸木位里・赤松俊子(丸木俊)夫妻が手がけた絵本『ピカドン』について、5人の研究者が解説。また、絵本を再構成した文庫版『ピカドン』の画面や1951年から開催された「原爆の図」展ポスターなど、関連図版をカラーで収録。GHQによる報道規制と朝鮮戦争下の反戦運動のさなかである1950年発表時の状態を再現した復刻版との2冊セット。

<外国語絵本>

『Knight Owl』 Christopher Denise Little, Brown 2022 ¥3150

騎士の学校に合格し、厳しい訓練を乗り越えて、みごと騎士となったフクロウのアウル。夜の見張りをしていると、恐ろしいドラゴンがお城にあらわれて…。小さいけれど勇敢な騎士アウルの心あたたまる物語。『夜をまもる騎士アウル』(中井はるの/訳 化学同人 2023.2)の原著絵本で邦訳とは表紙が異なる。2023年度コールデコット・オナーブック(銀賞)受賞作品。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

